

令和6年度 出雲市立多伎中学校 校内研究計画

R6. 4. 22 研究部

1. 本校の研究主題

ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現
～学び「あい」・深め「あい」・「あい」CT でつくる授業・家庭学習の実践を通して～

学び **あい**

- 生徒が、多様な他者（友達と、教師と、地域のひとと、等）と関わり、協働します。
- 教師が、互いに刺激を受けながら学びあっています。

深め **あい**

- 「意見を交換する」「自分の考えをまとめ、発表する」等のやりとりで、思考を深めます。
- 家庭学習で、個々の進度や到達度に応じて自分の学びを深めます。

その中に **あい** CT を取り入れることで、
教育効果がさらに高まることを目指します。

R6 多伎中学校 校内研究テーマ



そこに **あい** はあるんか？

2. 主題設定の理由

①島根の課題	<ul style="list-style-type: none">• 教員の ICT 活用指導力チェックリストで島根県は各項目において全国 46～47 位と低迷しており、各教科等において ICT を適切に活用した学習活動の充実を図る必要がある。 (文科省『令和4年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査』R5.3)• 「意見を交換する場面」「自分の考えをまとめ、発表する場面」など1人1台端末を活用しての「やりとり」に課題が見られる。 (文科省『ICT を活用した学習状況』R4)• 平常時の端末の持ち帰り学習の実施状況が島根県 16%(全国31.3%)と低い。 (文科省『端末の活用状況等の調査結果を踏まえた対応』R5.3)
②多伎中の課題	R5 年度の学校評価アンケートにおいて、「宿題の ICT 機器の活用」の項目で肯定的な評価が、教職員 43%、生徒 22%、保護者 33%と家庭学習における ICT 機器の活用が課題となっている。

国が ICT 機器の活用を推進する一方で、県や本校において「**教員や生徒の、学習における ICT 機器の活用率が低い**」ことが課題となっている。



3. 研究の重点

	授業で	家庭学習で
教師が	ICT を活用した、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を実践する	授業と連動した、ICT を活用した宿題を課す
生徒が	1人1台端末を使って、意見を交換したり、自分の考えをまとめたりする。	ICT を活用して個々にあった学びを、それぞれのペースで進める。

大きなことをゼロから始めるのではなく、「今やっていること」に ICT 活用

⇒ 学習効果を高める、意欲を高める、効率化を図る、等 とりあえずやってみる。

4. スケジュール

計画	内容	その年のゴール
1年目	観察・実態把握	事例研究・実践をしながら課題等を明らかにする。
2年目	仮説立て・検証	課題解決のための手立てをさぐり、仮説を立てる。 仮説を検証する。
3年目	再検証・まとめ	仮説を練り直し、再検証していく。 手立てが効果的であったかを明らかにする。

1年目の取組（案）

- ICT 活用場面の**情報共有（授業、宿題）** …これは自分の教科でも活用できそう！
※研究授業なども ICT の視点もってもらおう
※各教科の年間指導計画の中で、ICT が取り入れた授業や宿題の場面を設定する
- 教職員の**研修**（夏休み等を利用） …やってみると意外とできそう！
- ICT 支援員さんの活用 …困っても大丈夫！

時期	先生方	研究部
4月	<ul style="list-style-type: none"> 実施する「時期」「場面」「内容」をざっくりと決めます。 決めたことを、【研究様式①】実践アンケートに記入して提出してください。(5/2 締切) 	<ul style="list-style-type: none"> 実践アンケートをとりまとめ、皆さんに分かるように掲示してお知らせします。
5月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> 実施時期が近付いたら、【研究様式②】研究実践計画書を記入し、提出してください。(実施日の1週間前まで) 授業を見られる先生は、【研究様式④】授業等参観シートを記入し、授業者に提出してください。(その日中) 授業等が終わったら、【研究様式③】ふりかえりを記入し、提出してください。(実施日の1週間後まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 実践計画書を周知し、授業であれば授業を見てもらえるようにします。
年度末		<ul style="list-style-type: none"> 次年度の研究にむけて

参考になりそうなもの

- 文科省「教育の情報化に関する手引き-追補版-」 R2.6
- 文科省 WEB サイト「StuDX Style」
- 文科省「各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する解説動画」 R2.9
- NITS（独立行政法人教職員支援機構）の校内研修シリーズ[情報化（ICT）教育]
- タブレットドリル（デジタルドリル教材）
- ミライシード（デジタルドリル/授業支援ソフト） ベネッセ
- SKYMENU Cloud
- Microsoft Teams
- 教科書の二次元コード（QR コード）
- デジタル教科書 等

「個別最適な学び」とは

①指導の個別化

- 教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行う効果的な指導
- 特性や学習進度、到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う

②学習の個別化

- 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ、表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供すること
- 子供自身が、学習が最適となるよう調整できるようになる

（文科省『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』 R3.3）抜粋

「協働的な学び」とは

- 多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質能力を育成すること
- 共同で作成、編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動など

（文科省『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』 R3.3）抜粋

校内研究 R6 スケジュール

研究部

時期	先生方	研究部
4月	<ul style="list-style-type: none"> 実施する「時期」「場面」「内容」をざっくりと決めます。 決めたことを、【研究様式①】実践アンケートに記入して提出してください。(5/2締切) 	<ul style="list-style-type: none"> 実践アンケートをとりまとめ、皆さんに分かるように掲示してお知らせします。
5月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> 実施時期が近付いたら、【研究様式②】研究実践計画書を記入し、提出してください。(実施日の1週間前まで) 授業を見られる先生は、【研究様式④】授業等参観シートを記入し、授業者に提出してください。(その日中) 授業等が終わったら、【研究様式③】ふりかえりを記入し、提出してください。(実施日の1週間後まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 実践計画書を周知し、授業であれば授業を見てもらえるようにします。
年度末		<ul style="list-style-type: none"> 研究の成果と課題をまとめ、次年度の研究にむけてまとめていきます。

✂ 切り取り

お名前 ()

1. 実施月と場面について

取組を実施する「時期」と「場面」「内容」について教えてください。

時期	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
場面	授業で	宿題で	その他の場面 () で					
内容	未定	ぼんやり	はっきり					
	「ぼんやり」「はっきり」決まっていることを、書ける範囲で書いてください。(なければOK!)							

*お忙しい中ですが、**5/2(木)**までに小早川机前の封筒にご提出ください。

R6 多伎中学校 校内研究テーマ



そこに **あい** はあるんか？

【研究様式②】 研究実践計画書

* 実施日の **1週間前**までに **小早川へ直接**ご提出ください。

お名前 ()

実施の詳細について

実施日	() 月 () 日 () 曜日 () 校時
場面	<input type="checkbox"/> () の授業で
	<input type="checkbox"/> () の宿題で
	<input type="checkbox"/> その他の場面 () で
ICTの活用内容	
ICT活用によってめざす生徒の姿	

【研究様式③】 研究実践ふりかえり

効果があつた点	
課題となつた点	

* 実施日の **1週間後**までにご提出ください。

【研究様式④】 授業等参観シート

- * 授業等が終わったら、**授業者へ**ご提出ください。
- * 授業者は、【様式③】の記入にお役立てください。

お名前 ()

No.	項目	達成度
1	ICT 活用により、「めざす生徒の姿」に近づいていたか？	近づいた 4-3-2-1 近づいていない
		その理由
2	自分の教科等で活かそうか？	活かそう 4-3-2-1 活かそうにない
		その理由
3	感想・メッセージ等	

ありがとうございました！